

貧困・苦境児童を支える

# FOREST EYE ACTIVITY LETTER

年次報告書

# 2019



**FOREST**  
Bless to you ...

# CONTENTS

01. CONTENTS・ABOUT US

02. MISSION・VISION・CORE VALUE

03. 海外事業  
1st Project

## ABOUT US

08. 海外事業 活動記録

10. 海外事業まとめ

11. 国内事業  
2nd Project

13. 3rd Project

14. 年次報告書 総括  
2019年



特定非営利活動法人 Forest (フォレスト)

本部：札幌市中央区南1条西7丁目12-6

支部：福岡市南区若久6-24-8

設立日：2013年12月3日

法人設立日：2014年4月8日

代表理事：小野塚 舞

**T E L** 011-272-7716

**F A X** 011-272-7715

**E - M A I L** info@forest-japan.org

**W E B** <http://forest-japan.org/>

## MISSION

- ・現在(いま)を生きる不遇な環境で育つ子どもたちすべてが、輝ける道を創り、循環支援の輪を生み出す

## VISION

- ・どんな子どもたちにも平等に夢を
- ・どんな子どもたちにも未来への希望を
- ・どんな子どもたちにも無限の可能性を
- ・どんな未来の子どもたちにも繋がる循環支援の輪を

## CORE VALUE

- ・子どもたちの可能性を大切にします
- ・人との繋がり、縁、想いを大切にし、お互いを尊重します
- ・自らの言動、行動に対し、偽りなく誠実であり続けます
- ・最善の方法を常に探求します



### BRANCH FOR PRO



就労継続支援 A 型事業所：branch for pro

北海道札幌市中央区南 1 条西 7 丁目 12-6

事業内容：WEB・経理関係

定員：20 名 ※3 月末現在

事業所開所：2018 年 1 月 4 日



### BRANCH FOR SEED



就労以降支援事業所：branch for seed

北海道札幌市中央区南 1 条西 7 丁目 12-6

事業内容：WEB・経理関係

定員：10 名 ※3 月末現在

事業所開所：2019 年 7 月 日

**T E L**

011-272-7716

**E - M A I L**

branch@forest-japan.org

**F A X**

011-272-7715

**W E B**

<https://branch-for-pro.site/>  
<https://seed.branch-for-pro.site/>

# 海外事業

# 1st PROJECT CAMBODIA

孤児院支援



子どもたちの 教育・健康・成長が守られる 成長支援活動

## 孤児院支援「チェイホーム」



2019年3月時点で14人の子供がいたチェイホームですが、2020年4月までに1人が卒院し、現在は13人の子供が在籍しております。ただし卒院した1人に対しても、その後も継続して学習支援を続けておりますので、現在フォレストとしては昨年と変わらず14人のカンボジアの子供達を応援しております。

昨年度の子供たちの生活としては、公立の学校に通いながら孤児院で英語等の教育を独自に実施するなど、基本的な教育方針や自立に向けた支援方針に変更はありません。しかし新型コロナの流行をはじめとした孤児院を取り巻く環境の変化、そして子供の成長に伴う変化など、今年度もたくさんの変化がありましたのでご報告いたします。

# 子どもたちの成長記録

## ●チン (Ms. Peab Chhing)



高校を休学して3年目に入り、復学は完全に諦めてしまいました。しかし決断した後になって、やはり後悔があったようです。だからこそ同じ後悔を他の子供たちにさせたくないという思いから「高校だけは出ておきなさい」と周囲の子供たちにアドバイスをしてくれています。

現在は半スタッフのような立ち位置で孤児院にて生活しており、家事に加え幼児の英語の授業も担当してくれています。

スタッフ不足のチェイホームにとって、ありがたい戦力であるチンですが、私個人的には、彼女にもいずれ外の世界でも経験を積んで欲しいと思っています。しかし彼女自身は外の世界に出ることを恐れているので（彼女がどこで暮らすかは別としても）、彼女の自信を育むよう挑戦を促し、応援していきたいと思っています。

## ●ソチータ (Ms.Sok Socheata)



高校2年生になり、どんどん大人っぽくなってきたソチータ。卒業試験前はナーバスになることも多かった彼女ですが、去年は試験も終わり、精神的にも安定して過ごすことができました。

彼女は勉強もお手伝いも自主的に取り組む優等生である反面、少し内向的な一面があると思っていましたが、去年はお客様と一緒に率先してダンスを楽しむなど、行動面でも変化を感じる一年でした。

このように精神的にも大人に近づき、自信持ち始めたソチータですが、来年にはまた高校卒業試験を意識する時期に入ります。そこで彼女がどのように頑張りを見せてくれるか、引き続き見守りたいと思います。

## ●ヒン (Mr.Peab Leheang)



高校3年生で、今年卒業試験を控えるヒンですが、現在新型コロナの流行を受け、休校で長く学校に行けておりません。昨年から徐々に成績は上がりつつあったものの、元々勉強に自信があったタイプではないので、今の状況には本人も不安を感じているようです。自宅待機中は家畜の世話や農作業などの家事に加え、自習で休校の遅れを取り戻すべく自助努力をしています。しかしカンボジアでは質の高い自国語の参考書などがないこともあり、勉強は難航しているようです。

もちろんこのような状況は彼だけではない為、その中で頑張っ良い結果を出してくれることに期待しています。

ちなみに卒業後は就職を希望しておりますので、知り合いの自動車整備工場への紹介も視野に入れて、将来について一緒に考えていきたいと思っています。

# 海外事業

# 1st PROJECT CAMBODIA

孤児院支援



## ●チョモラウン (Mr. Sok Chomreun)



足に障害がある（後天的で原因不明）チョモラウンは、昨年度も症状が思わしくなく、痛み止めを手放させない生活が続いています。

そんな彼も今年も高校卒業試験を控える年。チェイホームから巣立ち、社会に出る時期も近づいてきました。少し前まで将来の夢を「農家」と答えていた彼ですが、昨年初めて「トゥクトゥクドライバーになりたい」と語ってくれました。自然が好きな彼にとって、農家は「やりたいこと」だったはずですが、しかし自分の状態を考え、「現実的に自立

できる方法」を考え始めたことは、彼が大人になってきた証拠だと喜んでいて、彼がどんな道を進むにせよ、引き続き応援していきたいと思っています。

## ●ナロン (Mr. Sok Narong)



小さい時から障害を持ち、半身が上手く動かせないナロン。言葉もスムーズに出ないことから通常の生活でも他者のサポートが必要となることが多いです。そんな状況から学校でも自分より随分と年下の子供たちと共に学び、遊び、それでも周囲に比べ自分に劣等感を感じているのか、時に感情をあらわにすることもしばしばです。

しかしそんな彼が、今年一人で自転車に乗れるようになりました！

おそらく何度も転倒しながらも、諦めずにひとり練習したのだと思います。そのような

彼の強い意志が、きっと将来大きく花開くことを信じ、これからも応援したいと思っています。

## ●メタ (Mr. Sok Mata)



中学 3 年生になったメタ。少し子供っぽいところがありますが、人懐っこい性格が魅力の彼も、今年中学卒業試験も控えます。また内面も少しだけ大人になってきたようで、休校での自宅待機中、家畜の世話や農作業などの家事の手伝いだけでなく、自習や本を読む時間も増えています。元々素直な性格の彼ですので、実の姉でもあるチンの「高校だけは卒業しなさい」という言葉が、良い影響になっているのだと推測します。そんな彼のやる気をさらに伸ばすよう、引き続き応援したいと思っています。

●ソピット (Sok Sophit)



昨年は中学の卒業試験に合格し、無事に高校生になったソピット。絵や歌、ダンスが好きで上手ですが、最近は「歌って」とお願いしても人前では中々歌ってくれなくなりました。思春期の女の子なので、これも健全な成長と微笑ましく見守っています。新型コロナウイルスによる休校をきっかけに、自宅待機中小さな子供たちへの授業をしてもらうなど、昨年度は新しい挑戦も始まりました。彼女の将来の夢、デザイナーになる為の特別な努力はまだですが、高校生の中に夢や目標をより具体化し、それに向かう努力ができる人に成長してもらえよう、引き続き応援していきたいと思います。

●サムナン (Mr. Sok Somnang)



恥ずかしがり屋で、年齢より大人びて見えるサムナン。同年代の子供より年上と過ごす時間が多く、勉強もお手伝いもしっかりとこなしてくれています。また運動神経も抜群で、昨年チェイホームに遊びにきてくれた日本人から「某サッカースクールの子供たちより抜群にセンスがある!」とお墨付きを頂いたこともありました。サッカーの技術的なことはわかりませんが、彼の「強い負けん気」を感じさせるプレイスタイルは、サッカーだけでなく色々なジャンルで活かせるのではないかと期待をしています。

●チャンブルティ (Mr. Vong Chanrithy)



昨年も引き続き英会話の上達がめざましいチュッピー (あだ名)、小学5年生になって最近は身体つきも大きくなり、見た目にも大人に近づいてきました。ある日インスタグラムの投稿の為「ボトルキャップチャレンジ」に挑戦してもらったことがありました。その時、格闘技経験の無い彼が一切軸ぶれすることなく、見事な回し蹴りを披露しとても驚かされました。このように常に華やかな活躍を見せてくれる彼ですが、残念ながらお手伝いの貢献度は低めです。孤児院の管理者であるマナビー

さんの実子であることから、どうしても甘えが出ていると思われます。しかし今後の彼の人生の為にも、この課題はなるべく早く改善できればと思っています。

●レサー (Mr. Sok Raksa)



孤児院のやんちゃ坊主 2 人組のレサーも今年で 3 年生になり、少し大人になりつつあります。家事や掃除に加え家畜の世話もしてくれるなど、できるお手伝いの幅も広がりました。とはいえ、まだまだ喜怒哀楽をストレートに表現するなど、とても子供らしく健やかに成長してくれています。小さな怪我や風邪などがありますが、その都度適度に甘える子供っぽさは、彼の健全な成長の証と喜んでいきます。

# 海外事業

# 1st PROJECT CAMBODIA

孤児院支援



## ●レサット (Mr. Sok Raksi)



孤児院のやんちゃ坊主 2 人組レサットも今年で 3 年生、レサーと同じくお手伝いの幅が広がってきています。調子に乗ると限度を超えてやってしまうのは相変わらずですが、彼も大人に近づいてきています。感情のコントロールには相変わらず少し課題がありますが、褒められると調子に乗る彼の特性を活かし、良い面をどんどん伸ばしてくれるよう、今年も見守りたいと思います。

## ●カニタ (Ms. Sok Konitha)



カニタは相変わらず学校の成績も良いですが、勉強だけでなく周囲の友達との関係も良好で、公私共に充実しているように思います。特に今年に入り、村の女の子の友達がたくさん増えているようです。反面、勉強や友達との時間が増えている分、お手伝いは少し疎かになりがち。とはいえ、この年代の子供に多くを求めすぎるのは無理な話ですので、基本的には温かく見守っています。

ただ村の子供たちと遊ぶ時間が増えたことにより、「自分には親がない」という認識が深まったのかな、と感じることが昨年度は何度かありました。しかしこれは彼女だけの特別な問題ではなく、チェイホームの子供たち全員が乗り越えていかななくてはならない問題です。だからこそ、みんなで見守りながら、彼女の成長を応援できればと思っています。

## ●サンアン (Mr. Vong Sothearith)



チェイホームの最年少のサンアンも、今年の 11 月には小学校に上がります。身体つきも幼児から脱却し、話す内容も日に日に成長する、成長を見守るにはとても面白い時期です。ただチュッピーと同じくチェイホームの管理者の実子であることから、他の孤児院の子供に比べ甘やかされて育てている感は否めません。結果として幼稚園に通い始めた当初はソピット (孤児院のお姉さん) が同席していないと行きたがらないなど、「少し甘えが過ぎるな」と感じることもありました。彼の将来の為に、この甘えから早

めに脱却できるよう期待し応援したいと思います。



## 孤児院を卒院後、支援を継続している子供

### ●コン (Mr.Sok Ou Khong)



本人の希望で高校卒業を待たずにチェイホームを卒院したコンですが、その後の話し合いの結果、支援を継続することになりました。

現在はプノンペンにあるタヤマ日本語学校（管理者のマナビーさんの母校でもあります）で、住み込みで毎日勉強を頑張っています。

学費と生活費の補助を支援するにあたって約束したことは「絶対に最後までやり切る」と「感謝を忘れず形にすること」の2つ。

タヤマも現在コロナの影響で休校が続いていますが、それでも腐らず、頑張って勉強を続けてくれています。

## 2019年度の活動記録

### ● 2019年4月



今年もクメール正月をみんなで祝うと共に、支援金で制服を新調しました。

### ● 2019年7月



美味しいお米作りは続きます。そしてお姉さんも無事に退院！

### ● 2019年5月



美味しいお米を作る為みんなで協力して農作業。もちろん勉強も！

### ● 2019年8月①



たくさんのお客様に遊びにきていただき、賑やかな8月を過ごせました。

### ● 2019年6月



農作業が続く中、お姉さんがデング熱で入院してしまうアクシデント発生！

### ● 2019年8月②



ソーシャルコンパス様にアニメーションのワークを実施いただきました。

# 海外事業

# CAMBODIA

孤児院支援



## ● 2019年9月



8月訪問した大学生が、チェイホームの様子を日本の子供に紹介してくれました。一方チェイホームでは、一緒に植えた野菜を継続して育て収穫しました。

## ● 2020年1月



19年8月の訪問に続き、アキくんが2回目の訪問をしてくれました。

## ● 2019年10月



プチュン・バン(お盆)のお祝いと、新しく服の支援も実施できました。

## ● 2020年2月



フォレストの代表 小野塚がチェイホームへ訪問、今後の方針を話し合いました。またチェイホームで新たに子牛が生まれました。

## ● 2019年11月



3ヶ月に渡る話し合いの末、コンを卒院後も支援することに決め、タヤマ日本語学校に入学し通学する為の支援を実施いたしました。

## ● 2020年3月①



コロナ拡大を受け、感染予防についてレクチャーしました。また現地担当の藤岡が一時日本へ帰国するにあたり、心配して保存食を届けてくれました。

## ● 2019年12月



インスタから支援いただいた方のご提案を受け、ワークを実施しました。

## ● 2020年3月②



また通常支援に加え、不測の事態に備え薬と保存食の追加支援を実施しました。

## 海外事業まとめ

昨年度の大きな出来事として、8月にコンの卒院がありました。ちなみにカンボジアの新学期は11月ですので、8月という中途半端な時期での卒院には理由があります。

実はコンの卒院は、「逃亡」という強行的な手段によるもので、高校も卒業しないままの、私たちが望まない形の門出となってしまいました。ですから直後の約1ヶ月は現地管理者の藤岡宅にて滞在しながら話し合いを続け、最終的には10月一杯まで約3ヶ月の長きに渡り、何度も話し合いを重ねました。

最終的には本人の将来の希望に沿って「日本語学校への入学と通学」を支援することで落ち着いたのですが、その話し合いの3ヶ月は現地スタッフとコンの双方に多くの混乱と反発が繰り返しおこり、決して順風満帆な話し合いではありませんでした。

その混乱の原因はいくつもあるのですが、根底にあるのは「双方の愛情の深さ(それによるもつれ)」が原因だったと思います。その事実を双方が正しく理解でき始めた時から少しずつ雪解けが始まり、(まだ完全な相互理解には届きませんが)現状の支援の形に落ち着ることができました。

ただし今もなお、チェイホームのお父さんにコンは直接挨拶することも叶わない現状が続いております。これに関してはコンが言葉ではなく、彼の行動と努力で信頼を取り戻す必要があると思っていますので、引き続き見守っていきたいと思います。

その他にも昨年度は管理者のポッテビーさんを皮切りに、サンアン、サムナンと立て続けに3人が Deng 熱にかかるなど、沢山の問題が起こった年でした。しかしその分だけ話し合いを重ね、お互いの理解と信頼を深めた年だったと思っています。

また昨年度はInstagramでの発信をきっかけに、多くの方がチェイホームへ遊びに来ていただいたり、新たに支援をしてくれたりする機会が増えた年でもありました。

今年度は新型コロナの影響もあり、直接カンボジアへ来ていただくことは難しくなるだろうと思います。だからこそ、昨年以上に子供たちの元気な笑顔と頑張る姿を、支援者様にInstagramなどを通じてお届けできればと思っています。

引き続き温かい応援をよろしく願いいたします

# 国内 事業

# 2nd PROJECT JAPAN

ONE PIECE FOR PEACE

CHARITY-SPORTS

物品支援



## ONE PIECE FOR PEACE



この名刺は児童支援  
に繋がっています。  
Support TheNPOForest

ONE PIECE FOR PEACE プロジェクトをスタートしてから丸5年が経過しました。  
2019年度に集まった piece は 27,150piece となり、これまでに頂いた piece の合計は  
305,894piece にもなります。こうして、この支援プロジェクトを継続することが出来てい  
るのも毎年沢山の企業さまのご協力と応援があるからこそ感じております。また1月よ  
り就労支援事業と

## CHARITY-SPORTS

「楽しい・新しい出会い」を支援に繋ぐ

8月19日 第六回フォレストチャリティゴルフコンペを開催いたしました。今年も多くの企業さま、プロゴルファーの方からご協賛をいただき、素敵な賞品や参加賞を揃える事が出来ました。

年々回数を重ねる毎に多くの方とのお縁を頂き、新たな支援に繋がる事もできております。

これからも応援してくださる方々との「楽しい」が新たな支援に繋がっていくことができるよう進めてまいります。



### 【開催内容】

開催日：2019年8月19日 参加人数：79名 会場：ハッピーバレーゴルフクラブ チャリティ金額：172,000円

協賛企業様：塚田陽亮プロ、内藤寛太郎プロ、入人家様、株式会社かねひろ様、株式会社キープグループ様、クラブ R30 様、クラブムーン・ルージュ様、株式会社こがね様、株式会社コンサドーレ様、株式会社札幌大成様、さんか亭様、株式会社シティグループ様、株式会社ジャパンビバレッジ北海道様、しゃぶしゃぶのうとら様、成吉思汗 大黒成様、寿司数馬様、有限会社大道工業様、パーティースタジオハリウッド様、ハッピーバレーゴルフクラブ様、株式会社春木商店様、ピッコロモデナ様、美・フレイバー様、有限会社フォー・ツリー様、富士舗道工業株式会社様、株式会社フレバコーポレーション様、有限会社マイダ工務店様、株式会社丸泰オー・エム・アイ様、株式会社恵水産様、モエレ沼芸術花火実行委員会様、リアクローゼット様（五十音順）

# 社会教育・健全育成の推進Project

子供たちと感動と時間の共有。心に残る思い出を。

## 【モエレ沼芸術花火 2019・世界一楽しいゴミ拾い】

2019年は9月に発生した台風21号と北海道胆振東部地震の影響により、開催中止となったモエレ沼芸術花火ですが、今年は沢山の人の想いが込められ無事に開催されました。フォレストがこの支援プロジェクトを初めてから5年目になりました。当時、招待した子供たちも成長し、中学生だった子も高校3年生になり、進路を考える年齢になりました。まだ幼さの残る子どもたちが年々大人へと成長して行く姿をみると感慨深いものがあり、改めてこの支援活動ができて良かったと思います。実際に職員の方や直接子供たちから進路の話や、児童養護施設に残り、大学進学を目指す子、早く自立したいと就職を決めた子、それぞれが自分たちの今の状況をしっかりと考え、新たな道を選択していました。フォレストではより多くの子どもたちが芸術や文化、スポーツや社会との繋がりを持つことができるよう、児童養護施設の子供たちを対象にこうした機会の支援活動を行っています。まだまだ、これから長い人生を歩む子どもたちの思い出や成長の糧になれるような活動をこれからも進めてまいりたいと思います。



## 【北海道コンサドーレ札幌観戦招待】

株式会社コンサドーレ様よりご支援を賜り、児童養護施設の子供たちと一緒に北海道コンサドーレ札幌 vs 名古屋グランパス戦の観戦・応援に行ってきました！今回、初めてプロスポーツ選手の試合を間近で観る子どもたちも多く、北海道コンサドーレ札幌に得点が入るたびに全員で手を上げて喜びました。この日の体験を通じて、子供たちが目標を持ち前に進むことの大切さや素晴らしさ、そして友達やチーム、誰かのためにまた一つ頑張ることが出来るようになってくれたらと感じております。



## 【太陽とこどもプロジェクトチャリティイベント】

太陽とこどもプロジェクトのチャリティイベントに光が丘学園の子供たちを招待させていただきました！太陽とこどもプロジェクトは子供たちの夢や目標を後押ししたいという代表理事の北川さんの想いから発足している社会福祉法人さます。今回は子どもたちに対する共通した想いから初めてご一緒させていただきましたが、現役で活躍をされているプロスポーツ選手の方たちと一緒に子どもたちが触れ合う事のできる機会を頂きありがとうございます。こうした貴重な経験が少しでも多くの子どもたちに届けられるよう、これからも進めて参ります。



## 物品支援

今年は社会福祉法人児童養護施設光が丘学園、社会福祉法人北光社ふくじゅ園の子どもたちへ物品支援を届けることができました。

# 国内事業

# 3rd PROJECT JAPAN

Branch for pro

Branch for seed



## 障がい者自立支援

就労継続支援 A 型 / Branch for pro

就労移行支援 / Branch for seed

障がい者の自立を目指した就労継続支援事業をスタートして2年が経ちました。

この支援事業プロジェクトは、生まれながらに身体に障害を持っている人や現代の環境下で精神に障害を抱えてしまった人たちが「環境や境遇に制限されずチャンスをつかむ事ができ、実りある輝いた人生であってほしい」と思い、出来るだけ一般就労に近い形の就労継続支援事業所を目指し進めています。1年目では「福祉とは」、「就労とは」といった「はざま」に悩むことが多々ありました。より一般就労に近い形の事業所を目指していたこともあり、利用者の方も今までの通所していた事業所と違うといった違和感を感じる方もいらっしゃいました。

しかし、2年目に入り、少しずつ私たちの想いが利用者さんにも浸透していき、利用者さんも増え、少しずつではありますが、お仕事を依頼して下さる企業様も増えてきました。

web デザイン業務では、HP だけではなく、名刺や広告などより幅広いお仕事に対応できるよう、12月に印刷機を導入し、自社でデザインから印刷、納品までのスキームを一本化することができました。記帳代行業務でも、対応できる業種の幅が広がってきています。

そして今年是一般就労が決定した利用者さんが3名いました。ブランチを通じて、利用者の一人一人が社会の一員として自信や輝きを取り戻し、自立(自律)へと向かうことが出来るよう今後も支援を進めて参りたいと思います。



製 作 H P 一 例



## 年次報告書 総括 **2019**

2019 年度も皆さまからのあたたかいご支援を頂きまして本当にありがとうございました。

今年 は 1st プロジェクトであるカンボジア孤児院へ訪問することができ、運営に関わる大切なお話も現地スタッフと共有することができました。また、子どもたちの成長も間近で感じることができ、改めて継続し支援を行っていくことの大切さも再実感いたしました。国内事業では、前年に引き続きチャリティイベントの開催や沢山の企業様のご支援を頂戴し、児童養護施設の子どもたちへ物品支援の実施、モエレ沼芸術花火と世界一楽しいゴミ拾いの招待も無事に終了いたしました。1 年目に初めて出会った子どもたちも進学や就職などそれぞれが次の人生の選択をする時期に入っており日本の子どもたちの成長もまた感じることもできた 1 年でした。今年 は更に複数の団体で協力して新たな支援事業も行うことができました。こうした機会により、昨年度よりも多く子どもたちと触れ合えることができたことや、さまざまな角度から支援の内容を考えるきっかけをもらうことができ、実りのある 1 年だったと感じています。こうした活動もさまざまなお縁から繋がり、広がっていった事で出来た活動です。フォレストを応援して下さる全ての方に感謝すると共にこのお縁を大切に、これからも子どもたちにとって必要な支援を進めて参りたいと思います。また、3rd プロジェクトである就労支援事業では 2 年を迎えました。人数も増え、より多くの人たちと関わり、様々なジャンルにチャレンジすることのできた 1 年となりました。

web 事業では国家資格取得に向けた講習もスタートし、障がい者の方のスキルアップも目指した取り組み行いました。このチャレンジや取り組みが障がい者の方やスタッフのこれからも経験と自信に繋がってくれたらと思っています。これからもこうした機会を積み重ねることで 1 人でも多くの障がい者の方の「キッカケ」や「チャンス」「可能性」へと繋がっていきけるよう進めて行きたいと思っております。2020 年も国内外問わず応援をよろしくお願い致します。



FOREST

Bless to you ...